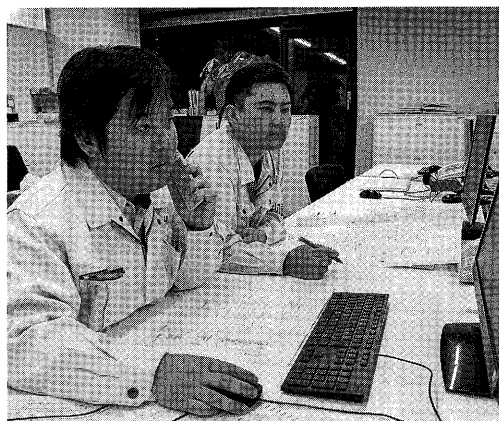
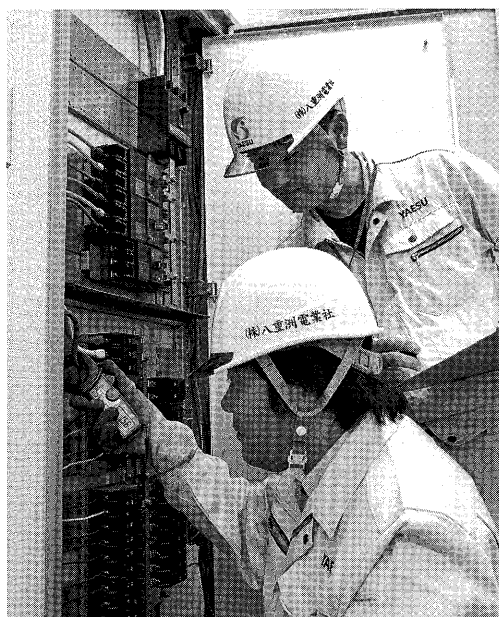


今月の表紙

(株)八重洲電業社 漢那 隆 さん／川本 竜也 さん



▲心地よい緊張感が漂う社内で、脇目もふらず一心不乱に仕事に没頭する八重洲電業社の技術者たち。そのなかで撮影を開始。上の写真は、偶然にも川本さんに進行中の仕事の電話がかかってきた瞬間を押さえたものだ。すばやく丁寧な電話対応に、さすがユースエール認定企業と感心する取材陣。過労死が絶えない日本社会において、ワークライフバランスを実現する彼らの手法に注目が集まる。

先手必勝の施工管理で最強の効率化

——転職して八重洲電業社に入社した動機は何ですか。

漢那：手に職をつけるということで電気工事士として働いていましたが、施工管理のほうに魅力を感じ、転職を決意しました。面接官が同郷だったこともあり、縁を感じて入社しました。

川本：前職で電気工事の現場監督をやらせていただいたことがきっかけです。ワークライフバランスへの取り組みの強さに魅力を感じて入社しました。

——施工管理は複数の現場を抱え、ときには予期せぬトラブルにも遭う。さぞや業務量が多いと思いきや、同社は月平均残業を20時間に抑えているとのこと。その結果、雇用状況が優良な企業に対して、厚労省が認定するユースエール認定を取得している。効率化の秘訣とは？

漢那：とにかく早く行動することを心掛けています。事前調査後は早く図面を作成することで、お客さまや職人さんと綿密な打ち合わせができて、問題点の洗い出しと対策が取れるので、円滑に作業を進めることができます。

川本：私も前倒しできるものはあらかじめ処理をして、余裕を持った作業工程を組むことを心掛けています。また、進捗を適時上長へ報告し、サポートを受けることで業務の効率化を図りつつ、中だるみしないでモチベーションを保つことで無駄の少ない仕事ができます。

——増えたプライベートタイムでは、どのように過ごしていますか。

漢那：子どもと一緒にサッカーや野球をします。

川本：映画鑑賞や山登り、サイクリングを満喫しています。1級施工管理の取得を目指して勉強もしています。

——今後の目指す姿(目標)を教えてください。

漢那：早く仕事を覚えて、工事に携わった人たちにまた一緒に仕事がしたいと指名していただくことです。

川本：日々進歩する業界の技術を学び、自身の確かな強みを発揮したものを形に残していきたいです。